

献血はてな？

Q&A 1



Q 200mL、400mLってなにが違うの？

A ずばり輸血の安全性です。血液を多く必要とする患者さんにとって少しでも少数の献血者の血液で治療する方が検査でわからないウイルスによる感染や、同じ血液型でも相性などによって起きてしまう発熱などの輸血時の副作用を軽減することができます。2種類に分けている理由は貧血や体重が軽い人、また16歳から18歳未満の若者への健康上の配慮のためです。献血は体重40kg以上の方ができますが、400mL献血は男女ともに50kg以上の方しかできません。そのため、50kgに満たない方には200mL献血をお願いしています。

■800mLの輸血に必要な献血者数



Q 成分献血ってどんな献血？

A 献血をする時に「血しょう」もしくは「血小板」だけの血液成分を選択採血する方法です。そのため、血液を採取しながら遠心分離をし、成分を分離しながら採血しています。そして、必要な成分だけを採取し、不要な成分は献血者に戻しています。成分献血の利点は、献血する前の状態に戻るのが遅いといわれる赤血球を体内にすぐ戻すため、身体への負担が少ないというところにあります。

Q 献血の針ってどういうもの？

A 通常使われる献血用の注射針は通常16～19G(ゲージ) 18G=外径1.2mm ちなみに30Gは1/30インチ(0.85mm)の太さです。数字が小さければ小さいほど針は太くなります。

上から 採血用
つまようじ
検査用



Q 400mLも採ると体調が心配...

A 基本的に献血基準を満たしているなら大丈夫です。厚生労働省の献血指針にも示されているように体内血液量の*15%以内なら身体上問題ありません。

※50kgの男性: 600ml
50kgの女性: 525ml